

第65回春季東北地区高等学校野球宮城県大会

第3位決定戦										打安点盗犠四三残失併											
楽天命パーク宮城 2 時間 30 分																					
石巻	1	1	0	0	2	1	0	0	0	5	【石】	33	7	4	2	3	3	6	7	2	1
利府	0	3	0	0	0	3	5	0	x	11	【利】	34	12	10	1	3	3	1	5	4	1
(球) 野田	(一) 雁部	(二) 佐藤正	(三) 小松								▽本塁打 阿部(利)										
【石】	村上・尾形	—	加藤								▽三塁打 なし										
【利】	長谷川・浅野	—	石川								▽二塁打 本木, 難波 (石) 青木, 小野 (利)										
▽暴投 なし										▽捕逸 なし											

【評】

試合はシーソーゲームとなったが、最後は打力に勝る利府高校が、昨秋に続き東北大会への出場を決めた。1回2回と石巻が得点すると、2回の裏、犠飛と青木の適時二塁打で逆転する。5回表には難波の適時二塁打と阿部修の適時打で再び逆転し、6回の表に追加点を加え、石巻が試合を優位に進めたように見えた。しかし、6回の裏に阿部光の大会第五号となる2点本塁打などで、再び逆転、7回の裏には4本の単打と、失策や野選が絡み、一挙5点を奪い引き離した。継投した利府の浅野は、粘る石巻の打線を1安打に封じる好投を見せた。

決勝戦										打安点盗犠四三残失併												
楽天命パーク宮城 2 時間 33 分																						
古川学園		2	0	0	0	0	0	0	0	2	【古】	29	6	2	0	4	2	15	6	1	0	
東北		0	1	0	0	5	0	8	1	x	15	【東】	38	20	15	2	1	8	0	8	0	0
(球) 三浦徹		(一) 武田		(二) 布田		(三) 金																
【古】		安藤・武田・佐々木		—		地紙																
【東】		葛岡・中山・古川原		—		阿部真																
▽暴投 武田1(古)						▽捕逸 なし																
										▽本塁打 杉澤(東)												
										▽三塁打 遠藤(古), 中村, 杉澤, 岩沼(東)												
										▽二塁打 なし (古) 奥田, 伊藤 (東)												

【古川学園】				打	安	点	【東北】				打	安	点
(中)	菊	藤	地	4	1	0	(遊)	杉	川	澤	5	2	2
(三)	佐		瑠	3	1	0	(二)	西		田	5	0	0
(一)	遊		佐	3	1	0	投	古		沼	-	-	-
(捕)	地		紙	3	0	0	(三)	岩		伊	3	1	3
(遊)	遠	々	藤	4	1	0	(左)	奥	部	藤	4	3	1
(二)	鈴		木	4	0	0	(中)	伊		佐	5	4	1
(左)	宮		城	4	2	2	(右)	遊		村	0	0	0
(投)	安		藤	1	0	0	一	中		岡	3	2	3
投	武	藤	田	0	0	0	(投)	葛	川	山	3	2	1
投	佐		木	-	-	-	投	中		原	-	-	-
打	金		野	1	0	0	打	小		原	1	1	0
(右)	佐		優	2	0	0	走	石		木	0	0	0
								(一)	柏	部	2	0	0
								打	右		2	1	2
								走	右		1	1	0
								(捕)	阿		4	3	2
計				29	6	2	計				38	20	15

投手名							回数	打数	安打	三振	四死球	自責点	投手名							回数	打数	安打	三振	四死球	自責点				
安武佐々	藤	4回0/3	14	6	0	5	3	葛中山古川原	岡	7回	22	5	12	2	2	古川原	1回	4	1	0	0	0	古川原	1回	3	0	3	0	0
	田	2回0/3	10	6	0	3	6		山	1回	4	1	0	0	0		山	1回	4	1	0	0		0					
	々木	2回	14	8	0	0	2		木	2回	14	8	0	0	2		川	1回	3	0	3	0		0					

【評】

初優勝をかけて臨む古川学園を相手に、昨春を制した東北が20安打15得点と大勝した。2点を先制された東北は、2回裏一死から6番遊佐の四球と7番葛岡の中前安打で好機をつくると、9番阿部が左前適時打を放ち1点を返した。5回裏には、4番奥田の左中間二塁打、5番伊藤の右中間二塁打、6番遊佐の中越三塁打、1番杉澤の右越本塁打の長打攻勢で、5点を挙げた。7回裏にも、四球と安打を絡めて一挙8点を取り、試合を決めた。古川学園は、昨日の準決勝の勢いをそのままに、1回表、1番菊地の左安打、2番佐藤瑠の犠打、4番地紙の死球で好機を広げると、5番遠藤が二死一二塁から右線適時三塁打を放ち、2点を先制した。その後、粘り強く攻めたが、東北の葛岡、中山、古川原の投手リレーの前にそれ以上得点を挙げることはできず、悔しい敗戦となった。